

2. 整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(千葉県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率			計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
旭市	ちばみどり農業協同組合	野菜(きゅうり)	総出荷ヘースに占める秀品(AS級)の割合を60%に増加	45%	-	52.4%	54%	60%	60.0%	野菜(きゅうり)	きゅうりの全出荷量に占める契約取引の割合	10.9%	-	23.3%	24.1%	30.1%	68.8%	きゅうりの全出荷量に占める契約取引の割合が13.2ポイント増加	集出荷貯蔵施設検査設備1式	1,232,385,000	586,850,000	0	0	645,535,000	H24.12.28	きゅうりの品質を低下させるウイルス病が多発した為に秀品率の割合が目標値に達しなかった。今後は、機械選に向く品質の良い新品種の導入及び、栽培指導の徹底により、品質向上を図りたい。また、契約販売割合については、各市場の要望と実情とのギャップ(発生比率の少ない等級の要望や天候等に左右される出荷減少時に対応できない等)が要因となり、思うように伸ばすことができなかった。今後は、要望に応えられるよう栽培技術を検討しながら契約数量を増やすよう改善に努めたい。	きゅうりの秀品率及び契約取引率ともに、計画時よりは向上しているものの、目標達成できなかった。ウイルス病の発生や、市場の要望する等級や時期に適した生産ができなかったこと、あげられる。今後は、新品種の選定や栽培技術の向上に向け、関係機関で連携して指導を徹底する。	
山武市九十九里町	山武郡市農業協同組合	集出荷貯蔵施設等再編利用(野菜)	出荷施設稼働率100%(処理量5,270t)	96.4%(5,080t)	-	98.0%(5,163t)	85.7%(4,515t)	100%(5,270t)	-191.1%	野菜(ねぎ)	上位規格品の増加L品率50%	34.70%	-	39.4%	32.2%	50%	-16.3%	上位規格品のL品率2.5ポイント減少	集出荷貯蔵施設集荷場2468.5㎡真空予冷装置6パレット2チャンパー保冷库250㎡構内舗装4228.53㎡	261,592,800	124,568,000	0	0	137,024,800	H25.3.21	施設の利用開始が春ねぎの終わり頃からの利用となったこと、台風被害によりねぎの生育が遅れたことにより利用率が上がらなかった。また、春ねぎ収量の等級比率低下時期からの出荷と台風被害により下位等級品の出荷が増加したため上位規格品率も上がらなかった。産地による栽培管理技術の徹底することで、施設稼働率及び上位規格品の増加が図られる。		

2. 整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(千葉県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
芝山町 山武市 横芝光町 成田市 富里市 八街市	丸朝園芸農業協同組合	野菜(ニンジン・トマト)	当該品目の上位規格品の割合を15.5ポイント増加。	A級(L~M) 56.7%	-	-	A級(L~M) 64.5%	A級(L~M) 72.2%	50.3%	当該品目の上位規格品の割合が7.8ポイント増加。	野菜(ニンジン・トマト)	当該品目の10a当たり労働時間を41.2%削減。	98.9hr/10a	-	-	73.2hr/10a	58.3hr/10a	63.3%	当該品目の10a当たり労働時間が26.0%削減。	集出荷貯蔵施設にんじん洗浄選果機 処理量・・・20.0t/hr 7条×2系列 P K・カメラ方式 トマト選果機 処理量・・・3.7t/hr 4条 P K・カメラ方式 真空予冷装置 処理量・・・450ヶ/s/hr 2C-3P台車方式 ストレージ倉庫 7,500c/s 収納	771,750,000	367,500,000	0	0	404,250,000	H25.3.10	台風や9月の低温により等級の低いものが多く、上位規格品の割合が目標達成しなかった。また、選果場出荷者が予定より伸びなかったこと、播種機の機械化も予定より進まなかったことにより労働時間目標未達成となった。	台風や秋季の低温に伴う等級の低いものに成果目標が達成しなかった。今後、選果場の利用、省力機械の利用を推進する必要がある。周知するように働きかける。		
山武市 横芝光町 芝山町	山武郡市農業協同組合	集出荷貯蔵施設等再編(野菜)	再編後の施設利用率100% (処理量1,000t)	86.3% (862.5t)	90.6% (905.9t)	92.6% (926.3t)	93.7% (937.4t)	100% (1,000t)	54.0%	施設利用率が7.4ポイント増加	野菜(とまと)	上位規格品の増加 A2L~A品率15.4ポイント増加	24.6%	23.1%	32.2%	27.7%	40.0%	20.1%	上位規格品の割合3.1ポイント増加	集出荷貯蔵施設選果機2ライン 処理能力1,000t/年 間仕切施設 352㎡	99,015,000	47,150,000	0	0	51,865,000	H24.3.20	8月の異常高温の影響で、処理量、上位規格品ともに目標達成には至らなかったが、引き続き利用者の拡大と栽培技術の向上を図っていく。	猛暑等の異常高温の影響により、処理量、上位規格品ともに目標達成を満たせなかったが、更なる利用者の拡大と栽培管理技術を図るよう誘導する。		
都道府県平均達成率	13.6%	平成25年度8月の猛暑による高温、また、秋季の台風及び低温による被害等気象の影響を大きく受けたため、処理量や上位規格品の出荷割合等が前年よりも減少するなど、野菜の集出荷貯蔵施設の整備を行ったすべての地区で目標達成ができなかった。そのため、機械選果に向く品種の選定を進めるとともに、栽培管理技術向上の取組について技術的な指導を徹底し、品質向上、収量の増加、適期の出荷を図り、施設の稼働率を向上させる。また、目標としている労働時間の短縮が達成できるよう共同利用機械の導入を推進するなど、各目標の達成へ向け、関係機関と連携し、改善指導を行っていく。																												